

我が国機械工業事業者の競争力強化を図るためのアジアでの
エネルギー・環境に関する新しい技術・市場の発展の促進に関する調査研究

(報告書の概要)

本調査研究は、アジアでのエネルギー・環境に関する新しい技術・市場の発展の促進を考
えるうえでは、民間事業者による環境投資・技術移転の拡大が必要との認識のもとで、京
都メカニズムなどの新たなスキームを実施する上での現時点での障碍事項を明らかにし、
その解決に向けての提言を行うことを目的としている。

まずは、環境問題に先進的に取り組んでいると思われる事業者を業種ごとに抽出して、
その現状での取り組みや障碍事項等について具体的にお聞きした。ここでは、大多数の企業
が CDM などの京都メカニズム活用の検討を行っていること、実施するうえではまだ多くの
障碍事項があること、自社ビジネスと関連のあるプロジェクトを考える事業者が多いこと、
投資先としてはアジア（特に東南アジア）への関心が高いこと等が明らかになった。

次に、特に関心の高かった「マレーシア」「ベトナム」「インドネシア」の 3 カ国につい
てエネルギー基礎情報や各種規制 CDM 承認状況等の詳細調査を実施した。これらの 3 カ国
はいずれも今後のエネルギー消費の伸びが大きく、また、CDM 実施体制も比較的整っており、
今後の投資先としては有望なことが明らかとなった。

これらの調査から事業者の今後の行動として、海外投資案件があった場合に通常の投資
採算性が厳しい場合などにおいても、CDM プロジェクトとして適応が可能であるかの検
討を行うことを提言し、具体的な注意ポイントを提示した。また、その際に事業者が参考
にできるように、CDM 理事会における承認済み方法論、最新の国際動向、これまでの基礎調
査概要などの総合的な情報を網羅した。

(報告書の主要構成)

- 1、はじめに
 - 2、事業者の実態把握
 - 3、アジア諸国の実態調査
 - 4、総括
- 参考資料